

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和5年度第2回大分県立図書館協議会

2 開催日時

令和6年2月27日（火）14:00～15:45

3 開催場所

大分県立図書館 3階 特別会議室

4 出席者

(1) 委員（10名中9名出席）

佐藤晃洋委員（委員長）、佐藤真里委員、松本委員、後藤委員、長尾委員、
植田委員、甲斐委員、川原委員、佐藤栄宏委員

(2) 事務局

宮迫大分県立図書館長、南副館長、矢野副館長、
浜松総務企画課長、増本サービス課長 ほか担当総括

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0名

7 議事

(1) 委員長、副委員長の選出について

(2) 令和5年度活動報告、令和6年度基本方針及び重点目標について

8 報告

(1) 令和4年度大分県立図書館運営状況に関する評価に対する委員意見について

(2) 答申「障がい者等の読書環境の整備について」による取組について

9 主な審議内容及び会議録の概要

議事（1）について、事務局から以下の資料に基づき、説明を行った。委員長に佐藤晃洋委員、副委員長に後藤委員を選出した。

- ・資料1：大分県立図書館協議会関係法令

議事（2）について、事務局から以下の資料に基づき、説明を行った。

- ・資料2：大分県立図書館の業務について

- ・資料3：令和5年度活動報告
- ・資料4：令和6年度基本方針及び重点目標

主な委員意見、回答は以下のとおり。

○委員意見

令和6年度の重点目標にDXの推進が大きく出てくることになる。今後、DXの活用状況等もカウントしていくことになるのか。

●事務局回答

電子書籍や、デジタルアーカイブを含めたホームページ等の利用状況をお示ししていくことになると考えている。県立図書館ではこれら総合した形で数値的な目標としていきたい。

○委員意見

図書館で少しくつろぐ、そういったことができないかと思っている。少しくつろいで本を読むという場所もいるのではないか、そういう図書館ができるのか、考えていただきたい。

●事務局回答

公共図書館のコンセプトが変化しているのは、認識している。新しい図書館には家族でくつろげるスペースがあり、そうしたものをこの図書館でどうつくっていくのか議論していきたいが、蔵書スペース等の問題もある。今後の図書館の利用を考えるうえで、大事な視点と思っている。

○委員意見

市町村立図書館のホームページに県立図書館へのリンクが貼られていないところが見受けられる。相互にリンクを貼ることが必要。

●事務局回答

利用者に対してどのような情報を提供できるのか、市町村の図書館とも相談していきたい。

○委員意見

DXの推進は大切なことであるが、本を好きになる場所という視点も一つのポイントであろう。県立図書館は、公文書館と先哲史料館を併設しているという大きなメリット、特徴がある。個性ある図書館を目指してほしい。

学校図書館の利用率が下がっていると聞いている。本好きにならないのは、家庭環境、経済的な状況によるものがある。長期的な課題であるが、県立図書館がリーダー的な立場で市町村立図書館とともに取り組んでもらいたい。

●事務局回答

ご意見のとおり図書館の個性があつていいと考えている。市町村立図書館が充実していく状況を踏まえ、県立図書館の性格、どのようなサービスを展開していくのか、考えていかなければならない。

本よりも面白いものが世の中にあるなかで、子どもたちの興味、関心を知識の習得につなげていくことが大事と思っている。読書環境のあるところで育った子どもの学力は高い傾向にある。学校図書館とも連携しながら、いろいろな取組を進めて

いきたい。

○委員意見

読書環境を整えていくには、県立図書館だけでは限界がある。幼児教育も含めて、民間側でも考えていかなければならない。それぞれの得意分野でのアイデアを調整しいくとよい読書環境ができると考える。

○委員意見

利用者数、貸出冊数は、人口減少や活字離れにより減っていくと思う。専門職としての司書の役割を磨いていかなければいけない。レファレンスサービスだけでなく、やれることがもっとあると思う。若い人の活字離れのなかで、新しい活字文化が生まれているので、司書がこういうものの調査研究をしていく、ニーズ調査をしてはどうかと思う。

○委員意見

幼児教育はアナログの世界、本は子どもにとってとても大切なものであり、想像力を働かせるものである。幼稚園、小学校で子どもの興味、関心を増やしていくうえで、図書館の大きな役割がある。

○委員意見

コロナ禍が明けて、子どもの読書量が増加している。学校教育にタブレットが導入されているが、環境を整えれば、子どもはたくさん本を読む。タブレットでは得られないイメージ、空想、感性を育てたいという気持ちで取り組んでいる。

○委員意見

高校生は忙しく、本を読む時間がない。学校図書館の利用を促しているが、なかなか習慣化されない。調べ学習等でもネットで情報を得ようとする生徒が非常に多い。生徒が求める情報を司書が提示できることが大事であり、調べたい本を検索したり、本の内容がわかるシステムがあればよいと思う。

●事務局回答

DXはこれから進めていかなければならないが、デジタルで使えるようにするためには、きちんとした情報を丁寧に入力していく作業をしていかなければならない。司書がいろいろな資料を提供できるようになることが望ましいが、図書館のシステム、データベースを整備していく必要がある。司書の勤務条件も含めて、図書館からも教育委員会に要望しているが、高校からも声を上げていただければと思う。どういったものが必要なのか、いっしょに考えていきたい。

○委員意見

私の施設で絵本等を増やしたところ、親子連れの来館者が増えた。いろいろな場所に子どもが本を手にする機会を設けていくことが重要と思う。

不登校の子どもたちへの支援と非来館型サービスは相性がいいと思っている。子どもたちにどのような働きかけをしたのか、どのような成果があったのかお聞きしたい。

レポート作成の際に、学生に本や論文を参考文献として挙げるよう指導しているが、使用していない学生が見受けられる。本離れが深刻で、図書館、大学で知恵を絞っていかなければならない。

●事務局回答

県立図書館では、教育センターと連携し、ポランの広場の児童・生徒に来てもらい、図書館見学や職業体験を行ってきた。コロナ禍で途絶えていたが、先月、図書館見学等を行った。本を読みたいときに読める環境づくりの支援をしていきたい。平成28年度から市町村の教育支援センターと図書館が連携し、同様に図書館見学や職業体験を行っている。引き続き、市町村との連携の中で情報共有しながら、必要な助言等を行っていきたい。

●事務局回答

ポランの広場に加え、今年から、地域若者サポートステーションのひきこもりの人に来ていただき、図書館の作業をしてもらっている。図書館での活動を通して、人との関わりを増やしている。そうした場所として図書館を使ってもらうことも、増やしていきたい。また、フリースクール、児相、病院等に団体貸出で本を持って行き、身近に本を手にとれるような環境づくりをしていきたい。ネット上の情報の特性等についても、図書館として知識を提供できるものがあると思う。司書のレベルアップや環境も含めて、手伝いできることを考えていきたい。

○委員意見

県立図書館は市民図書館と資料の量が全然違う、そのなかに身を置くことの意味、大きさについて、常々申し上げている。子どもの時にそういったものを味わってほしいと願っている。非来館型サービスは流れで仕方ないが、県立図書館に来ていただくことも考えてほしい。

○委員意見

県立図書館でワークショップ等、子ども向けのイベントをしているが、本を読むきっかけづくりになると思うので、継続してほしい。

報告（1）について、事務局から以下の資料に基づき、説明を行った。

- ・資料5：令和4年度大分県立図書館運営状況に関する評価

特に質疑、意見はなかった。

報告（2）について、事務局から以下の資料に基づき、説明を行った。

- ・資料6：答申「障がい者等の読書環境の整備について」取組整理表

主な意見、回答は以下のとおり。

○委員意見

これにより仕組み、システムは整うが、利用者にとって、居やすい場所か、居たい場所かが決定的な事項になると思う。障がいを持った方が便利に出入りできる、来た時にウエルカムと思われているかどうかというような場所づくりが重要と思う。思い切って、考えたことがないことまでしていただけると、障がい者の方が集まってくると思う。当事者のなかに先見性を持った方もいると思うので、大学や関係機関などのリサーチをするなかで、出てきたものを育て、うまく実を結んでいく

ことが大切と思う。システム以外でどのようなことを考えているのか教えていただきたい。

●事務局回答

バリアフリーを標榜しているが、使いやすいものになっているかという点、立地からしてそういう状態ではない。床が絨毯貼りで、車いす利用者が動きにくい。具体的にこのシステムをどのように使っていくかは難しいところがある。アンテナを張り、細かなニーズを汲み上げていき、我々でできることを考えていく。できないことは関係機関に働きかけていくことを繰り返していかなければならない。

○委員意見

点字図書館のボランティアへの読み調べの支援を引き続きお願いしたい。

●事務局回答

電子申請の取組について、1点報告する。前回の協議会での意見を踏まえ今月から相互貸借での本の取寄せを電子申請で受け付けることを始めている。

10 問い合わせ先

担当課 大分県立図書館総務企画課

電話番号 097-546-9972